

## 各種懇談会・意見募集等で頂いたご意見・ご提言（2）

生活・地域等領域	.....	1
産業等領域	.....	4
教育・文化等領域	.....	7
自然環境・社会基盤領域	.....	10
治山・治水・砂防（特定の箇所に係るもの）	.....	13
計画推進の基本姿勢に関するもの	.....	14
基本目標等	.....	15

意見・提言の寄せられた場	前回まで	今回	合計
ボイス81（10地域）	230	—	230
車座集会（2会場）	70	—	70
意見募集（手紙、インターネット）	36	59	95
団体等から各部局へ寄せられた意見	—	116	116
職員提案	76	64	140
計	412	239	651

## 長野県中期総合計画（仮称）意見・提言一覧表

項目	意見・提言等
医療	県民の総合力を高めるためには、出生数・率を高める必要があり、そのために医師数（特に産婦人科）の向上は必須で、医師と連携したバースセンターの設立を企画する。
	地方、特に僻地の医療は危機的な状況であり、地方の中核病院の医師確保を急ぐべき
	地域に密着した医療を確立するため、医師やナース不足に補助等の支援をしてほしい
	県立病院のあり方の見直し
	県立木曽病院への脳外科医、他医師・看護師の確保
	県内都市部と田舎との医療格差がかなりある。
	地域の中核病院をはじめ、安心して暮らせる医療体制の確立を。
健康づくり	もっと予防医療に予算を計上し、予防医療を医療従事者に実践してもらいたい
	AED付や災害対応型の自動販売機設置を県施設や県全体に広げ、救命・災害時に有効活用する。
	長野県の豊かな自然環境の地形や資産を活かした健康メニュー（サイクリング・トレッキングコースの整備と観光拠点との組合せ等）を作成し、広く県民にアピールするとともに観光客誘致にも活用する。
	「長寿県一を目指して！」各合庁に品質の高い血圧計を設置し、長寿県をPRする。
	新型インフルエンザの医療体制の早急な整備
	エイズ対策について、職場検診などでもプライバシーが確保された形で検査が受けられるような体制の整備を
	「不登校」「ひきこもり」「ニート」と年齢によって呼称の異なる若者の、社会的自立を支援する総合的な対策を行う。
	不登校、ひきこもり、ニートの若者への支援にあたっては、保健・福祉・教育分野の相互連携により継続的で一環した対策をとる。
	小中学校の不登校児童生徒を対象とする「中間教室」を拡大して、中学卒業後のひきこもり者も受け入れ、「地域の受け皿」として、学校教育の枠に入りきらない子どもの居場所を用意する。
精神科医やNPOが取り組んでいるひきこもり対策を研究委託の形で支援し、成果を普及する。	
高齢者福祉	長野県高齢者プランに沿った介護老人福祉施設について、介護保険者である市町村や施設運営母体の意向を踏まえ、具体的な中期施設整備計画を立案してほしい。
	県社会福祉協議会が実施する日常生活自立支援事業を中心に地域包括支援センターや成年後見制度の活用支援を行う団体等との連携を図り、総合的な高齢者の権利擁護の支援を行うべき。
	高齢化社会の進展により、民生委員だけではサポートに限りがあるため、民生委員と連携して高齢者サポートを行う「地域福祉連絡員」の設置を検討すべき。
	少子高齢化社会の到来により、人口減少による経済の停滞、要介護高齢者の増加、企業等の人材確保難、中山間地域における過疎化の進展に対応する施策が必要。

## 長野県中期総合計画（仮称）意見・提言一覧表

項目	意見・提言等
子育て	長時間保育のニーズの高まりなどにより、保育園への入園者が増加している現状を踏まえ、保育園の充実の支援を行うとともに、親や地域の子育て力の向上と子育てに喜びを実感できる社会を形成するため、「子育て支援センター」、「つどいの広場」などの事業の予算を大幅に拡大されたい。
	「育児県 長野」を目指し、子育て、育児をするなら長野県と言われる諸制度を設ける。
	企業と子育てNPO等との連携は、子育てや子育てを社会全体でささえる新しい仕組みづくりの第一歩。
	安心して子供を産み育てられる環境の整備
	地域の子育て支援（ネットワーク等）・親子交流の場の充実、子育てに対する経済的負担の軽減
	もっと産みたい社会への展開を図る。
	小児科・産科医療の確保、（仕事・育児の）両立支援に取り組む事業所への助成、出産・育児に関する手当、休暇の拡充、家族の時間を確保できる働き方の実現を図る。
	福祉医療費給付事業の乳幼児の範囲の拡大と窓口無料化実施
男女共同参画	学校長・教頭への女性教員の登用促進
	地域活動における意思決定への男女共同参画の促進
	男女共同参画施策の実効性を高めるため、男女共同参画オンブッドを設置
	女性が働きやすい環境の整備
防災体制	AED付や災害対応型の自動販売機設置を県施設や県全体に広げ、救命・災害時に有効活用する。
	関係機関との密接な連携による土砂災害警戒情報の適切な提供
消費生活の安全確保	消費者への啓発の内容を、商品・サービスとその取引、生活の環境への影響に関する知識の普及・情報提供、生活設計に関する知識の普及とし、様々な場を通じての消費生活に関する教育の充実を消費生活条例に盛り込むべき。
食品・医薬品等の安全	食品衛生監視及び遺伝子組み換え食品等検査の充実強化
	食品の安全についてわかりやすく正確な情報の提供
	食品等事業者の自主的衛生管理の推進
地域づくり	県の10広域圏程度の地域単位で、各地域におけるそれぞれの特色を伸ばし、それぞれの役割を担うことができる地域の集合体としての広域的な均衡のある発展
	少子高齢化社会の到来により、人口減少による経済の停滞、要介護高齢者の増加、企業等の人材確保難、中山間地域における過疎化の進展に対応する施策が必要。
	農村景観形成・多面的機能の発揮
	農村の地域資源の保全と活用や農村文化の伝承

## 長野県中期総合計画（仮称）意見・提言一覧表

項 目	意見・提言等
地域づくり	農山村の維持保全を図る。
	都市農村の共生・交流の活発化
	鳥獣害対策の強化
	野生鳥獣被害対策の推進
	特用林産物の生産の振興
	全国の人が年をとったら過ごしたいと憧れる故郷
	田舎暮らしをしたい土地になるために、今いる人が努力を
地域間の交流・連携	地方が切り捨てられていく中、自立していくため、他県との連携や県内外国人在住地域を活かし、相互利用の道を模索するなど、81市町村がそれぞれ〈共生〉を考える。
広域的な行政	市町村合併については、町村の自主性を尊重し、いかなる形であれ強制することのないよう十分留意すること。

## 長野県中期総合計画（仮称）意見・提言一覧表

項 目	意見・提言等
工 業	スズメバチを利用した健康食品ブランド（スズメバチ酒等）の開発と市場流通支援
商 業	自動販売機ベンダーと協力し、自販機で県産品販売促進を図る。まずは県施設から率先して行うべきである。
農 業	<p>地域農業の担い手の確保育成（法人化推進・集落営農組織・地域リーダーの育成）</p> <p>団塊の世代・女性・高齢農業者への支援</p> <p>小規模・認定農業者の経営体質強化</p> <p>農業の諸課題を踏まえ、衰退を食い止めるため、一定の収入が得られる農業方式の再構築、農業魅力の周知、減反政策の見直しといった施策を展開する。</p> <p>農業・農村の生産・生活基盤の強化</p> <p>農業用水利施設の維持管理・計画的更新</p> <p>適切な土地利用への誘導（優良農地の確保、遊休農地の解消、農地転用の適正化 等）</p> <p>農地防災対策の強化（ハザードマップ）</p> <p>付加価値の高い農業の推進</p> <p>新技術・新品種の研究開発と効率的な普及</p> <p>安全・安心な農畜産物生産の維持・確保</p> <p>多様化するマーケットへの対応</p> <p>生産から販売までの結びつきによる競争力の強化</p> <p>消費者ニーズのマーケティング、特産品・こだわり農産物などの商品開発、観光との連携による新たな販路開拓</p> <p>食品加工産業（製造・加工・流通）との連携による新たな需要開拓</p> <p>消費者、流通、観光関係者等と連携した地産地消の推進</p> <p>農産物の輸出促進</p> <p>農産物を中国・韓国・台湾等に空輸する貨物国際便の開設により信州まつもと空港の活性化と外国でも通用する農産物品質向上・知名度アップを図る。</p> <p>学校給食、教育ファームを中心とした食育の推進</p> <p>中・大型野生動物の適正な個体数管理と食肉資源・薬用資源としてのブランド化、流通システムの構築、ジビエ特区創設によるモデル事業の推進</p> <p>鳥獣害対策の強化</p> <p>里地、中山間地域における廃棄農産物の回収システム、有用資源化システムの構築と、ツキノワグマ等への餌付け防止策の推進</p> <p>環境省等からの外部資金を獲得した上でのブラックバス類等の駆除推進、水産物資源としてのブランド開発、市場流通の促進</p> <p>農地の遊休荒廃化の防止</p> <p>農村景観形成・多面的機能の発揮</p>

## 長野県中期総合計画（仮称）意見・提言一覧表

項 目	意見・提言等
農 業	<p>農村の地域資源の保全と活用や農村文化の伝承</p> <p>都市農村の共生・交流の活発化</p> <p>林務・農政・環境部局間の連携による、エコロジー産業の育成、循環型社会の構築及び地域環境に係る諸問題の解決</p> <p>環境保全を重視した農業生産の推進やバイオマスの利活用の推進</p> <p>～長野県農業の新たな展開～ 長野県の食料自給率の向上をテーマとし、「10年後の農家数を現状水準とする」「10年後の食料自給率を10%UP」を目標とする。</p>
林 業	<p>森林整備事業の拡充</p> <p>森林整備の推進</p> <p>林地の地籍調査（山村境界保全事業）の推進</p> <p>林道・作業道等の林内道路網整備の推進</p> <p>県産材の需要拡大、木材産業の振興</p> <p>地域材の利用拡大対策（公共施設への地域材使用）の拡充</p> <p>県産材の供給体制の整備</p> <p>木質バイオマスエネルギー利用の促進（ペレットストーブ等の普及促進等）</p> <p>森林管理の中核的担い手としての森林組合の育成・強化</p> <p>林業担い手の確保・育成</p> <p>林業後継者の育成</p> <p>森林整備に適した入札制度の確立</p> <p>林務・農政・環境部局間の連携による、エコロジー産業の育成、循環型社会の構築及び地域環境に係る諸問題の解決</p> <p>ニセアカシアの適正な外来種管理と資源管理の推進：在来種生態系への自然復元地区、養蜂利用地区、木材利用地区のゾーニングの具体化</p> <p>シラカンバ、カエデ林を利用した樹液ブランド、薬用きのこブランド（カバノアナタケ）の開発と市場流通支援</p> <p>環状剥皮を用いた省力的な里山の更新サイクル管理と里山の生態系管理の推進、および環境教育・生態系教育モデル事業の推進</p>
観光産業の振興	<p>本県の観光地は、その多様性・量・実績の観点から、広範かつ重要なストックである。</p> <p>既存観光地において景観法・都市計画法等の制度を活用し、地域の個性やイメージを更に強化し、観光客が何度でも来たいと思う地域環境づくりが重要。</p> <p>観光部局が主体となり観光・土地利用・景観・農業・公共交通等の各部署で連携し、地域観光のための方針に即した施策を展開する。</p> <p>観光戦略及び県特産品需要拡大の一環として観光・県特産品PRをする「長野県アドバイザー」を全国から募集し委嘱する。</p>

## 長野県中期総合計画（仮称）意見・提言一覧表

項目	意見・提言等
観光産業の振興	<p>新観光スポットとして市町村・個人から「路地裏スポット」的な場所を広く集め観光パンフレットに掲載するなどPRし、新たなる誘客を図る。</p> <p>スキーシーズン（草津・妙高・志賀・野沢・白馬）の雪を活用した観光振興</p> <p>里山づくりに力を入れ、誰もが気軽にウォーキング・トレッキングができるようにしてほしい。健康づくり、環境教育、観光に役立ちます。</p> <p>長野県の豊かな自然環境の地形や資産を活かした健康メニュー（サイクリング・トレッキングコースの整備と観光拠点との組合せ等）を作成し、広く県民にアピールするとともに観光客誘致にも活用する。</p> <p>人工林を近自然林に転換するため、植樹エコツアーを企画し、呼び込みを</p> <p>善光寺参拝のご利益があり、また、観光客に仲見世通りでお土産を買ってもらえるように、観光バスで来る客を善光寺の前（南側）で降ろすような工夫はできないか。</p>
建設業	<p>長期的視野に立った建設業の産業振興ビジョンの策定</p> <p>貸し渋り・貸し剥がしを止めるための、金融機関への指導強化</p> <p>長野県独自の保証機関の保証枠の拡大。特に運転資金の特別枠の創設。</p> <p>経営再建中の企業に対する時限的な特別融資制度（運転資金）特別枠の創設</p> <p>地元業者施行の場合の発注者に対する税制優遇措置や融資枠拡大などの新しいシステムの構築</p> <p>入札制度において県内4ブロックを10ブロック（広域市町村圏）に変更する地域要件の緩和</p> <p>土木一式工事の県内一円となっている工事規模8千万円以上を1億6千万円以上への引き上げ</p> <p>とび土工・建築・舗装・その他工事における地域要件の緩和及び工事規模の引き上げ</p> <p>失格基準価格を予定価格の75～80%から85～90%以上とする引き上げ</p> <p>失格基準価格を予定価格の85～90%以上への引き上げ</p> <p>価格だけによらない総合評価落札方式の積極的活用</p> <p>地元業者の育成の観点に立った各業種の実情に応じた適正な地域要件、工事規模の設定などの入札制度の改善</p> <p>専門工事業の育成のための可能な限りの分離発注</p> <p>建設業発展のための、専門工事業の各職種における技能の承継、人材の育成</p>
人材育成と就業	<p>不登校、ひきこもり、ニートの若者への支援にあたっては、「若者の自立」「青少年の健全育成」「若者の就業支援」という観点を持ち、関係部局による調整会議及び専門家で構成する委員会の設置、県民参加の施策づくり推進事業によるアイデア募集などを行う。</p> <p>子育て後の再就職支援やフリーター、ニートからの脱却といった雇用確保のための施策の充実</p>

## 長野県中期総合計画（仮称）意見・提言一覧表

項目	意見・提言等
学校教育	<p>小中学校において基礎的基本的な内容をきちんと身につけさせるとともに、学ぶ意欲を向上させる授業改善を進めてほしい。</p> <p>未来への投資に軸足を置き、まず小・中・高校の30人学級を目指してほしい。その際に保護者の負担を増やさないでほしい。</p> <p>今後の高校再編の実施に当たっては、実施計画で示された年度にこだわらず、県民に対し十分な説明を行い、合意を得られた地域から段階的に実施してほしい。</p> <p>今後高等学校の統廃合を行う場合は、地域の意見を十分考慮し、魅力ある地域高校の存続を図るなど、慎重に取り扱ってほしい。</p> <p>高校再編を性急に一斉に実施するのではなく、地域の実情や将来動向を十分に見極めながら、地域合意に基づいて段階的に実施してほしい。</p> <p>不登校児童生徒が増加傾向にあるので、減少させるための方策を検討してほしい。</p> <p>心の相談員やスクールカウンセラーの配置を充実してほしい。</p> <p>不登校、ひきこもり、ニートの若者への支援にあたっては、保健・福祉・教育分野の相互連携により継続的で一環した対策をとる。</p> <p>県内不登校生徒の受け皿となっているNPO等への支援の強化</p> <p>心を通わせる体験や他人の痛みを実感できる体験的な学習を一層重視し、思いやりや自立、命の尊さ等、人として生きるうえで必要な道徳性を培ってほしい。</p> <p>働くことを学ぶことで、子どもが自分自身を見つめ直すきっかけとなる。</p> <p>人権感覚を育み、人権同和教育の徹底と、あらゆる差別の撤廃を期する。</p> <p>必修化による道徳教育の充実を図り、モラルある社会づくりを目指す。</p> <p>LD・ADHD・高機能自閉症等のある児童生徒等への支援体制の整備と養護学校等の総合化を進めるべき</p> <p>学校教育の現場においては、生涯にわたりスポーツに取り組むための資質と能力を養うカリキュラムの充実を図るよう、「運動に親しむ資質や能力の向上」・「体力の向上」・「健康の保持増進のための実践力の育成」を基本に据え、積極的に取り組むことができるよう支援するべき。</p> <p>「長野県の将来を担う人づくり」をテーマとし、新体力テストへの取組強化や、その優秀児童に適切な競技指導を行う「長野キッズタレント発掘事業」を柱とする「長野キッズ育成プロジェクト」を展開する。</p> <p>教育現場に子育てを終えた母親を活用するシステムの構築をすべき。ボランティアではなく、臨時嘱託職員として採用する。</p> <p>教員の資質・能力の一層の向上を図るための研修のあり方を検討されたい。</p> <p>児童・生徒の学校生活の充実のため、教員の資質と指導力の向上を図ってほしい。</p> <p>教育の方法論（どう教えるか）の研究より、教科の内面的な専門性（何を教えるか）の追求により力を注ぐべきであり、教員の自主的研究（専門分野を深めること）の奨励と条件の確保が必要。</p> <p>次代を担う子どもへの食農教育（教育ファームの充実・栄養教諭の配置）の推進</p>

## 長野県中期総合計画（仮称）意見・提言一覧表

項目	意見・提言等
学校教育	生産者・学校給食関係者の相互理解の醸成
幼児教育の充実	乳幼児期を中心とした家庭教育の向上に関する方策を検討し、早急に推進されたい。 家庭の教育力向上を目指して、家庭教育力の強化、責任感の醸成のための支援のあり方などを検討し、進めることが必要。
青少年の健全育成	「不登校」「ひきこもり」「ニート」と年齢によって呼称の異なる若者の、社会的自立を支援する総合的な対策を行う。 不登校、ひきこもり、ニートの若者への支援にあたっては、「若者の自立」「青少年の健全育成」「若者の就業支援」という観点を持ち、関係部局による調整会議及び専門家で構成する委員会の設置、県民参加の施策づくり推進事業（広報課）によるアイデア募集などを行う。 小中学校の不登校児童生徒を対象とする「中間教室」を拡大して、中学卒業後のひきこもり者も受け入れ、「地域の受け皿」として、学校教育の枠に入りきらない子どもの居場所を用意する。 次代を担う若者が社会の構成員として生き活きと暮らす長野県実現のため、行政・企業・NPOなどの支援協力による若者の社会参画促進施策により、若者の意見・アイデアを新しい長野県づくりに反映させる。
生涯学習	県生涯学習推進センターでは、生涯学習情報提供システム（信州らんらんネット）によりインターネットを介して生涯学習に関する情報を提供しているが、こうした情報の収集・提供についての行政の取り組みはまだ不十分。 情報交換や交流、またリーダー養成の場として、青年の家・少年自然の家を積極的に活用することも有効。 博物館や資料館の専門的職員を養成し、教育・文化に力を注ぐ県政、市町村政にしてほしい。 体験活動については、教育目標を明確にしたプログラムの企画・実施が大切。
スポーツ	スポーツの素晴らしさや意義について啓発活動を行い、スポーツ文化の定着を図り、スポーツの社会的位置付けを明確にする。また単に施設をつくるという発想を転換し、施設利用者の視点に立ち、既存施設の利用状況を分析し、必要に応じて改善・整備していく。総合型地域スポーツクラブの設立支援において、その理念の啓発活動を地域のスポーツ関係団体と連携しながら更に進めていくべき。 競技水準の向上をめざし、競技別に民間施設の有効活用も視野に入れながら、強化拠点を設置し、一貫指導システム確立の支援をするなど競技力の向上を総合的に推進することが必要。
芸術文化・地域文化	県の芸術文化施策における(財)文化振興事業団の役割を明確にすべき
国際化	地方が切り捨てられていく中、自立していくため、他県との連携や県内の外国人在住地域を活かし、相互利用の道を模索するなど、81市町村がそれぞれ〈共生〉を考える。 国際交流や外国人観光に対応した人材育成（子ども）や景観に配慮した外国語標記の案内標識整備
人権尊重	人権感覚を育み、人権同和教育の徹底と、あらゆる差別の撤廃を期する。

## 長野県中期総合計画（仮称）意見・提言一覧表

項 目	意見・提言等
人権尊重	<p>人権教育及び啓発の果たすべき役割は、今後ますます大きくなり、人権・同和問題の解決に向けて引き続き積極的に推進</p> <p>同和問題を重要な柱として全ての人の基本的人権を尊重していくための人権教育・人権啓発の推進の視点からの再構築が必要</p> <p>国際協調、国際的人権感覚の視点も重視し、指導者の資質向上、人材育成も進めるべき。</p> <p>県部落開放審議会は名称、目的等の変更を含め改組の上、人権・同和問題の解決に向け第三者機関として活用すべき。</p>

## 長野県中期総合計画（仮称）意見・提言一覧表

項目	意見・提言等
循環型社会	<p>環境配慮型製品への県独自のライフサイクルアセスメント（LCA）認定制度により、長野県の環境にやさしい循環型社会の構築に繋げる。</p> <p>ゴミの減量や再資源化の市町村レベルでの推進は規模・費用の面で難しいため、県の規模でゴミの有効利用（再資源化）システムを構築すべき。</p> <p>観光の信州のため、ゴミのポイ捨て禁止の徹底をしてほしい</p>
水・大気等生活環境	<p>他の水環境保全団体の活動内容等を情報交換・共有することが必要。県内各地を結んだネットワークが育つことを期待する。</p> <p>山間地に多くの集落が点在する長野県では、下水道等の施設を横断的に捉え、拠点となる施設（公共下水道等）と分散設置される施設（浄化槽等）を一体的に整備し統合管理する必要がある。</p> <p>自動車保有台数の増加や交通網の整備に伴い、大気汚染状況が悪化するケースも懸念されることから、充実した監視体制を整備する必要がある。</p> <p>住民の安全安心を確保するため、廃屋となり資力のない民間建築物について、アスベスト含有材の検査を実施してほしい。</p> <p>一般環境大気に加え、県民不安を解消するため、焼却炉周辺調査を必要性の高い地域から実施する必要がある。</p>
自然環境	<p>環境省等からの外部資金を獲得した上での、アライグマ、アメリカミンク等の特定外来生物指定を受けたほ乳類の全頭駆除の推進</p> <p>環境省等からの外部資金を獲得した上での、ブラックバス類等の駆除推進、水産物資源としてのブランド開発、市場流通の促進</p> <p>野生鳥獣被害対策の推進</p> <p>ツキノワグマに関する捕獲反対、捕獲権限移譲反対、春期捕獲反対</p> <p>里地、中山間地域における廃棄農産物の回収システム、有用資源化システムの構築と、ツキノワグマ等への餌付け防止策の推進</p> <p>中・大型野生動物の適正な個体数管理</p> <p>松くい虫被害対策の推進</p> <p>森林保全整備の推進（緩衝帯整備・荒廃森林防止）</p> <p>森林整備の推進</p> <p>林地の地籍調査（山村境界保全事業）の推進</p> <p>森林環境税・水源税（仮称）の創設</p> <p>上下流等の流域の連携推進</p> <p>人工林を近自然林に転換するため、植樹エコツアーを企画し、呼び込みを</p> <p>林務・農政・環境部局間の連携による、エコロジー産業の育成、循環型社会の構築及び地域環境に係る諸問題の解決</p> <p>アジアの森林リゾートを目指すナガノの保全計画の策定（環境保全、農山村保全、観光振興を広域的、一体的に実施）</p>

## 長野県中期総合計画（仮称）意見・提言一覧表

項目	意見・提言等
自然環境	<p>環境保全を重視した農業生産の推進やバイオマスの利活用の推進</p> <p>平均寿命男1位、女3位は恵まれた自然環境によることから、環境保護の必要がある。</p> <p>日本の縮図である全県下の本物の自然を守ること</p> <p>世界遺産を目指す南アルプスの環境保護支援</p> <p>全国有数の緑の県であり、緑を大切にすることを心がける。</p> <p>自然をこわさず、日本人の心のふるさとなるような施策を</p> <p>里山づくりに力を入れ、誰もが気軽にウォーキング、トレッキングができるようにしてほしい。健康づくり、環境教育、観光に役立ちます。</p>
地球環境	<p>環境に関するイベントや講座などの情報を提供してほしい</p> <p>県的規模で普及啓発の効果が高い環境イベントへの開催が必要</p> <p>環状剥皮を用いた省力的な里山の更新サイクル管理と里山の生態系管理の推進、および環境教育・生態系教育モデル事業の推進</p> <p>森林保全整備の推進（緩衝帯整備・荒廃森林防止）</p> <p>森林整備の推進</p> <p>木質バイオマスイエネ利用の促進（ペレットストーブ等の普及促進等）</p>
交通基盤	<p>農産物を中国・韓国・台湾等に空輸する貨物国際便の開設により信州まつもと空港の活性化と外国でも通用する農産物品質向上・知名度アップを図る。</p> <p>リニア中央新幹線の誘致により東京圏の経済・文化圏に直結させ、教育・保育・医療・観光・スポーツ等に関連するサービス産業を中心とした産業構造を指向していく。</p> <p>遅れている道路整備に力を入れてほしい。</p> <p>南信地域の基盤整備に注力し、南北格差是正をしてほしい。</p> <p>関東圏の文化と関西圏の文化それぞれが味わえる場所なので、北陸新幹線や三遠南信自動車道の整備などで、「文化のクロスロード」を目指す。</p> <p>松本糸魚川連絡道路の整備計画について「波田町起点豊科ICまで新道建設、大町までは高瀬川現沿道改良型」の提案</p> <p>全国平均に比べ立ち遅れた道路網整備、災害対策としての治山・治水、地域活性化・雇用環境等民生安定のために重要な社会資本整備の着実な促進</p> <p>長野、松本ではトラム（路面電車）の復活により、省エネ、中心市街地の活性化を図る。</p> <p>バス等公共交通機関に関するもの（計画）は、専門分科会を設置してとりまとめてほしい。</p>
住まい・住環境	<p>核家族化は少子化、高齢化、介護問題にも直結しているため、生活スタイルの違う世代が共に住める住宅の推進が望まれる。</p> <p>住宅への県産材の利用促進</p> <p>地域に根ざした良質な住宅ストックの形成をすすめるため、地域住宅産業の担い手の育成が必要。</p>

## 長野県中期総合計画（仮称）意見・提言一覧表

項 目	意見・提言等
住まい・住環境	格差社会の中で、弱者に足場を置いた施策（路上生活者の住宅確保、高齢者の共同住宅、グループホームの充実など）が必要。
まちづくり	<p>空家の有効活用や若者の定住促進が必要</p> <p>長野、松本ではトラム（路面電車）の復活により、省エネ、中心市街地の活性化を図る。</p> <p>佐久平駅北方面の発展・雇用の拡大を。発展が一極化とならないように。</p> <p>ビルやマンションを過剰に建てないでほしい。田舎らしく、また、自然あふれる町づくりをしてほしい。</p> <p>少子高齢化社会となり、今後のインフラ維持が重荷となるため、居住空間を適正な密度に集積しランニングコストの縮減、中心市街地の高密度化の推進を図る。</p> <p>長野市若穂の千曲川河川敷の多目的広場が活用されるよう、長野市とともに利用拡充に向け検討してほしい</p> <p>ユニバーサルデザインの視点に立ったやさしいまちづくり、特区のさらなる活用により子供や高齢者が安心して暮らせる環境の整備をする。</p> <p>土地利用計画管理に係る決定許可権限は複数の部署に分散しているが、メリハリのある土地利用コントロールを行うことができるよう権限一元化の研究検討を進める。</p>
景 観	<p>採石跡地の緑づくりの推進</p> <p>既存観光地において景観法・都市計画法等の制度を活用し、地域の個性やイメージを更に強化し、観光客が何度でも来たいと思う地域環境づくりが重要。</p> <p>美しい自然環境、おいしい空気、水といった長野県の魅力を唯一無二のものとし、美しい田園風景や遠くの山並みを眺望できる町並みづくりを目指してほしい。</p>
治山・治水・砂防	<p>関係機関との密接な連携による土砂災害警戒情報の適切な提供</p> <p>治山事業の積極的な推進</p> <p>全国平均に比べ立ち遅れた道路網整備、災害対策としての治山・治水、地域活性化・雇用環境等民生安定のために重要な社会資本整備の着実な促進</p>

## 長野県中期総合計画（仮称）意見・提言一覧表

項 目	意見・提言等
治山・治水・砂防（特定の箇所に係るもの）	千曲川上流の水害対策、治山事業を優先させるだけではなく、下流域の護岸・堤防・河床整備を促進する。

## 長野県中期総合計画（仮称）意見・提言一覧表

項 目	意見・提言等
県民の参加	<p>次代を担う若者が社会の構成員として生き活きと暮らす長野県実現のため、行政・企業・NPOなどの支援協力による若者の社会参画促進施策により、若者の意見・アイデアを新しい長野県づくりに反映させる。</p> <p>県民による県民のための県政、県民と行政との連携や県民の義務と権利を明記した県民憲章の制定を目指すことを主要テーマとする。</p>
他県との連携	<p>日本・関東甲信越・中部地方の各視点から長野県を捉え、行政改革の中で周辺都道府県とのつながりを強め、相互理解を深める必要がある。</p>

## 長野県中期総合計画（仮称）意見・提言一覧表

項目	意見・提言等
基本目標等	<p>安心・安全・住みよい社会づくり</p> <p>人口減少の中で皆が幸せに充実した暮らしができる施策作り</p> <p>全国の人が年をとったら過ごしたいと憧れる故郷</p> <p>もっと常識、マナーを持ち、人間らしく生きられる環境を</p> <p>自然と地域の人たちが作り上げる調和の中に、人間的な豊かさが随所に感じられるコミュニティ</p> <p>医療も教育も福祉も安心して不安なく暮らせる長野県</p> <p>福祉（高齢者福祉）・環境（循環型エネルギーシステムの普及）・教育（長野発の人材創出と復活教育県ナガノ）を3本柱とし主要施策とする。</p> <p>住みたい・生活したいと思う県</p> <p>～ゆとりと潤いのある社会に～ 少子・高齢化に対応し、未来に希望の持てる安心できる社会の構築を</p> <p>長野県のあらまほしき姿を表すものとして「それぞれは秀でて天を目指すとも寄り合うたしかに森なる世界」（清原日出夫歌集）を記載する。県民・市町村・多様化・個性・志・協働・確実・県等が想像される句である。</p>
長野県らしさ	<p>自然が豊か</p> <p>緑と自然の豊かな長野県</p> <p>心のふるさと美（うるわ）しのハイランド</p> <p>環境と景観のすばらしさ</p> <p>自然をこわさず、子ども、中高年にとってもリフレッシュ、環境教育、健康づくりの場でありたい。</p> <p>健康増進をみんなが納得される形で実践し続ける伝統を受け継いでいるところ</p> <p>教育に力を入れている県</p> <p>人情の温かさ</p> <p>飾らない県そのままの民俗を・自然を案内し、最高のメンタルヘルスの場として発信してほしい</p> <p>つつましい県</p> <p>水害のない住みよい地域</p> <p>就業率全国1位は、観光事業・りんご等果樹栽培農業に適している地理的条件の良さによる。</p> <p>歴史的な背景から精密工業・観光業・IT産業といった日本産業分野に適した条件が備わっている。</p> <p>伝統産業と信仰心を保護する地方 長野県</p> <p>中山間地域の住民も都市部住民も等しく社会的恵みを受用できる</p>
その他	<p>県外来訪者のための観光を足がかりとして日常的な県民生活の豊かさを向上させていく。</p>

## 長野県中期総合計画（仮称）意見・提言一覧表

項 目	意見・提言等
その他	<p>少子高齢化社会に備え、国内でも数少ない環境に恵まれた模範的な地域として発展し続け、県民が協力・努力できる計画としてほしい。</p> <p>人口減少問題をどう捉え、何をしていくべきか、総花的ではなく特徴ある方針を打ち出してほしい。</p> <p>人口減少社会を前提に、そこに暮らす住民が明るい希望を持てるような10年後の長野県のイメージを小説様式で文章化する。</p> <p>以前に作成した中長期総合計画の検証と公表をしてほしい。</p> <p>バス等公共輸送機関に関するもの（計画）は、専門分科会を設置してとりまとめてほしい。</p> <p>市町村との役割分担を明確にした計画づくりをしてほしい。</p> <p>県の役割や必要性等を確認し、目指すべき姿や施策等を整理、展開していく。また、長野県の発展という視点だけではなく、日本（アジア・世界）の中で、長野県が果たす役割という視点を持つ。</p> <p>行政の効率化・スリム化の観点から、何から何まで県がやりますといった計画ではなく、スリムな計画にしてほしい。</p> <p>キャッチフレーズは5年、10年先の長野県の姿を思い描いた具体的なものにしてほしい。観念的なものでよい。</p> <p>目標数値の設定については、ハードの個数や普及率ではなく、県民満足度等によるべき。</p> <p>巻末に参考資料として、各部局の個別計画・構想の一覧を掲載したらどうか。</p> <p>中期総合計画の基本目標設定に伴い、各種行政計画や予算づけ方法、県条例運用の修正が必要なのではないか</p> <p>県民意見を反映させるため、計画策定段階でパブリックコメントを実施し、県民協働による計画策定を行う。</p>